

**業務用 31 型 4K/HDR リファレンスディスプレイ “DP-V3120” を発売  
最大・全白輝度 2,000cd/m<sup>2</sup> と高コントラスト 200 万 : 1 を実現**

キヤノンは、業界最高の輝度性能<sup>※1</sup>となる最大・全白輝度 2,000cd/m<sup>2</sup> と高コントラスト 200 万 : 1 を実現した業務用 31 型 4K/HDR ディスプレイ “DP-V3120” を 2019 年 11 月下旬より発売します。



DP-V3120

新製品は、独自開発のディスプレイ用エンジン、独自設計の LED バックライトシステム、および IPS 液晶パネルの採用により、高輝度と黒輝度表示性能を両立した業務用 31 型 4K/HDR リファレンスディスプレイです。忠実な色再現・高解像度・高コントラストにより、撮影した 4K/HDR 映像を正確に確認することができます。キヤノンは、撮影から編集まで、HDR 制作ワークフローを支える 4K/HDR ディスプレイをそろえ、さまざまなユーザーの要望に応じていきます。

**■ 業界最高の輝度性能（最大・全白輝度 2,000cd/m<sup>2</sup>、高コントラスト 200 万 : 1）を実現**

独自バックライト設計と独自アルゴリズム制御により、最大輝度・全白輝度 2,000cd/m<sup>2</sup>、黒輝度表示性能 0.001 cd/m<sup>2</sup>、高コントラスト 200 万 : 1 を実現し、暗部領域やコントラスト感のある画像確認に適しています。映像が持つ高輝度から低輝度領域までの階調や色を忠実に表現できるため、リファレンス用途にふさわしい 4K/HDR 映像を鮮明に表示することができます。

**■ シネマ業界における先進的な要求仕様「ドルビービジョン」認証<sup>※2</sup>の全項目に適合**

ハリウッドなどの世界各国・地域のポストプロダクションの映像制作現場において、HDR 映像制作機材として重要な要求仕様「ドルビービジョン」認証の全項目に適合しています。高品質な映像コンテンツの効率的な制作に貢献し、映像制作現場のニーズに応じていきます。

**■ HDR 映像制作のワークフローをサポートする多彩な機能を搭載**

12G-SDI 端子を 4 系統搭載しており、4K や 2K の 4 画面 / 2 画面表示、HDR / SDR の比較表示ができます。輝度や色を数値や疑似色で可視化して表示確認できる HDR モニタリングアシスト機能や、入力信号を識別し、画質設定を自動で切り替えるビデオペイロード ID<sup>※3</sup> 連動、入力信号エラーを検知・確認する警告表示やエラー履歴表示など多彩な機能を搭載しています。

製品名	希望小売価格	発売日
DP-V3120	オープン価格	2019 年 11 月下旬

※1 業務用 4K ディスプレイとして、4K (4096×2160 ピクセル) 液晶パネルを用いながら、2,000cd/m<sup>2</sup> (最大・全白輝度)、0.001cd/m<sup>2</sup> の黒輝度、高コントラスト 200 万 : 1 を実現し、4K/HDR 制作に対応。2019 年 9 月 5 日現在。(キヤノン調べ)。なお輝度性能は、工場出荷時の標準値で、保証値ではありません。

※2 ドルビー・ラボラトリーズ社が推奨する映像制作ワークフローの要求仕様「Dolby Vision Certified Mastering Facilities Colorgrading Systems and Monitors Version 1.3」(2019 年 9 月発行)。

※3 米国テレビ技術者協会 (SMPTE) が定める SDI に付与される補助データ。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター

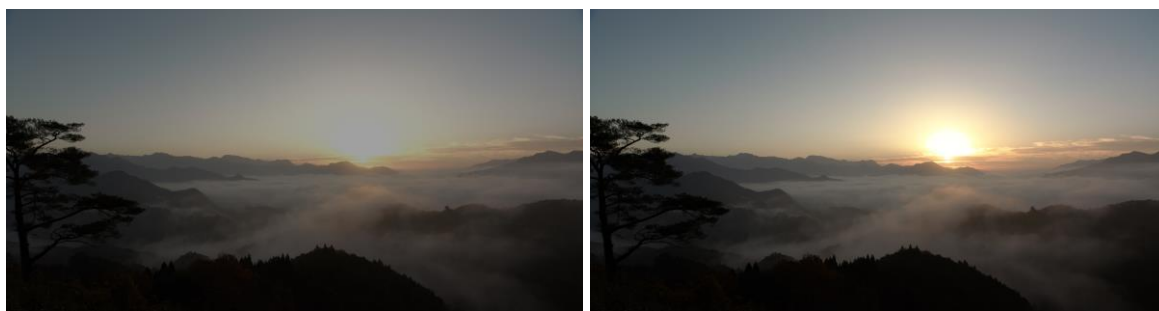
050-555-90006

● ディスプレイホームページ : [canon.jp/v-display](http://canon.jp/v-display)

## <主な特長>

### 1. 業界最高の輝度性能（最大・全白輝度 2,000cd/m<sup>2</sup>、高コントラスト 200 万 : 1）を実現

- ・カラーグレーディング\*や編集に適した業務用 31 型 4K/HDR リファレンスディスプレイ。撮影現場やスタジオに適した 17 型、24 型の従来機種と合わせて、撮影から編集まで 4K/HDR 映像制作のワークフローを強力にサポート。
  - ・独自開発のディスプレイ用映像エンジンや独自設計の直下型 LED バックライトシステム、IPS 液晶パネルを採用することで、2,000cd/m<sup>2</sup>（最大・全白輝度）の高輝度表示が可能。これにより、映像内容によって輝度が変動することなく、明部の表示面積の大小にかかわらず安定した輝度表示が可能。
  - ・黒輝度表示性能を高めることで、200 万 : 1 の高いコントラストを達成。これにより、撮影素材が持つダイナミックレンジを十分に生かし、より本来の明るさ・暗さで確認し映像制作が可能。
  - ・暗部領域やコントラスト感のある画像確認に好適。
  - ・HDR リファレンスディスプレイとして必要な高輝度領域でのきらめき感、暗部領域での黒く深い表現や S/N 比を忠実に確認可能。
  - ・映像が持つ本来の明るさが再現できるため、色合い・鮮やかさを含めて本来の自然で豊かな色表現が可能。
- ※ 色味やトーンを整えて、作品の世界観を作り上げていく作業。



HDR 映像の表現力を引き出す高輝度表示イメージ  
(左：1,000cd/m<sup>2</sup>表示時、右：2,000cd/m<sup>2</sup>表示時)

### 2. シネマ業界における先進的な要求仕様「ドルビービジョン」認証の全項目に適合

- ・ドルビー・ラボラトリーズ社が推奨する映像制作ワークフローの要求仕様「Dolby Vision Certified Mastering Facilities Colorgrading Systems and Monitors Version 1.3」に HDR リファレンスディスプレイとして適合。輝度や色のずれを補正するキャリブレーションアプリ\*により、要求仕様に対して正確な補正が可能。
- ・要求仕様の全項目「ピーク輝度／黒輝度／コントラスト比／色域／EOTF／Bit 深度／サンプリング／グレースケール再現性／加法混色」において、いずれも「Preferred」として同等以上の性能を達成。
- ・オンセットグレーディングのほか、VFX（視覚効果：ビジュアルエフェクト）、編集、グレーディング、品質管理、上映評価などさまざまな用途において「ドルビービジョン」認証による要求仕様に適合した推奨環境での映像制作作業が可能。

※ 「DP-V Color Adjustment Ver. 1.4.0」を 11 月下旬より無償提供予定。

### 3. HDR 映像制作のワークフローをサポートする豊富な機能を搭載

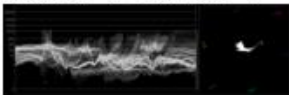
- ・映像制作現場を効率化する「マルチ表示機能」や「HDR/SDR 比較機能」を搭載。「マルチ表示機能」では、4K (6G/12G-SDI) と 2K (3G/HD-SDI) の異なる映像信号を、2 画面または 4 画面で 1 台のディスプレイに表示することが可能。
- ・「HDR/SDR 比較機能」では、HDR 映像をディスプレイ内部で SDR 映像に変換し、HDR 映像と SDR 映像の並列表示を左右で比較しながら確認することが可能。



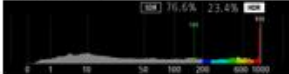
## 2画面表示および4画面表示例

- 映像制作現場における HDR 化の流れに対応し、撮影から映像編集作業までの HDR 映像の制作ワークフローを強力にサポートする多彩な「HDR モニタリングアシスト機能」を搭載。被写体の輝度や色を、数値や疑似色で可視化して表示確認できる機能や、画面内の HDR 領域の割合や輝度推移が制作者の意図通りの映像に収録できているかを数値としてグラフで表示確認できる機能などにより、ディスプレイ 1 台でも確実な情報に基づいた判断が可能。

波形モニター／ベクトルスコープ



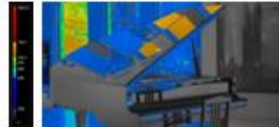
ヒストグラム



ピクセル値チェック



フォルスカラー



フレーム輝度モニター



オーバーレンジ



2020 色域外表示



比較表示



## HDR モニタリングアシスト機能

- 「運用支援機能」では、ビデオペイロード ID に定義された PQ/HLG と SDR 方式などの識別信号をもとに、ディスプレイ側で画質設定の自動切り換えが可能。また、ワークフロー運用時のミス低減に寄与する警告やエラー履歴の表示など、HDR 映像の制作を強力にサポートする多彩な機能を備え、撮影から映像編集作業まで映像制作現場の負荷軽減や効率化に貢献。

## 4. 映像制作現場のニーズに応える仕様

- ポストプロダクションの編集室において複数人で確認できる 31 型のディスプレイ本体の仕様を実現。大きさは約 749mm (幅) × 470mm (高さ) × 295mm (奥行き) ※、重量約 31kg。
- 従来機種より高輝度表示を実現しつつ、騒音を低減することで静かなポストプロダクションの編集室での快適な使用が可能。
- HDR 規格の 1,000cd/m<sup>2</sup> 輝度表示での継続使用においても、2,000cd/m<sup>2</sup> (最大・全白輝度) の高輝度設計によって、SDR 制作や 1,000cd/m<sup>2</sup> 制作表示時に経年変化による輝度不足を心配することなく長期使用が可能。
- 4K や 8K の映像制作に適した 12G-SDI 端子 (IN/OUT 各 4 系統) を搭載し、4K/60P 映像の送受信が、12G-SDI 対応ケーブル (別売り) 1 本で可能。8K の入力信号から縮小した 4K 映像を 1 画面で確認でき、8K 映像確認用途でも使用可能。4K 映像制作のワークフロー同様に「HDR モニタリングアシスト機能」や「運用支援機能」などにも対応。

※ 本体のみ (突起部除く)。

## <ご参考：業務用 4K ディスプレイのラインアップについて>

キヤノンは、2014 年 1 月に業務用 30 型 4K ディスプレイ「DP-V3010」の発売により、4K 映像制作ディスプレイ市場に参入しました。2015 年 10 月には業務用 24 型 4K リファレンスディスプレイ「DP-V2410」を発売、2016 年 11 月には高輝度な HDR 映像制作向け業務用 24 型 4K/HDR リファレンスディスプレイ「DP-V2420」、17 型 4K/HDR ディスプレイ「DP-V1710」を発売し、ラインアップを次々と拡充してきました。このたび、業界最高の HDR 仕様を実現した業務用 31 型 4K/HDR ディスプレイを投入することで、17 型、24 型、31 型と 4K/HDR ディスプレイのラインアップを揃え、撮影から編集まで 4K/HDR 映像制作のワークフローを強力にサポートしていきます。

製品名	発売年月	特長
DP-V3010	2014 年 1 月	30 型 4K リファレンスディスプレイ
DP-V2410	2015 年 10 月	24 型 4K リファレンスディスプレイ
DP-V2420	2016 年 11 月	24 型 4K/HDR リファレンスディスプレイ
DP-V1710	2016 年 11 月	17 型 4K/HDR ディスプレイ
DP-V2411	2017 年 12 月	24 型 4K/HDR ディスプレイ
DP-V2421	2018 年 4 月	24 型 4K/HDR リファレンスディスプレイ
DP-V1711	2018 年 4 月	17 型 4K/HDR ディスプレイ
DP-V3120	2019 年 11 月（予定）	31 型 4K/HDR リファレンスディスプレイ

### 業務用 4K ディスプレイのラインアップ

## <ご参考：展示会への参考出展>

2019 年 9 月 13 日（金）から 17 日（火）までの 5 日間、オランダ・アムステルダムで開催される国際放送機器展「IBC 2019」のキヤノンブースにおいて、“DP-V3120”を展示します。

## <4K 映像制作ディスプレイの市場動向>

映像制作業界ではデジタル化に伴い、映画などの映画制作業界で 4K 映像への対応が急速に進むと同時に、動画・音声をインターネット上で提供する OTT（Over The Top）サービスなどの最先端の映像制作現場では、4K/HDR 映像の高画質なフォーマットへの対応が進んでいます。また、放送においても 4K/8K 放送が始まっており、入力から出力まで映像制作ワークフローの 4K/8K 化が進み、高精度な映像制作機器の需要が伸びているとともに、4K 映像を忠実に再現できる高画質・高精細の 4K 映像制作ディスプレイのニーズも高まっています。（キヤノン調べ）

## <主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。